

第1回しただの郷未来の学校設置準備委員会

- 1 日 時 令和7年10月31日（金）午後6時から午後8時15分まで
- 2 場 所 下田中学校 食堂
- 3 出席者 山田宏高委員、刈屋剛委員、川沼正憲委員、前田政志委員、大竹啓五委員、佐藤アキ委員、多田英和委員、西川聡委員、川口裕委員、神田晃委員、石月貴大委員、清水昭委員、高橋多美子委員、坂井大委員、佐藤久恵委員、刈屋優委員、増井由春委員、佐藤貴紀委員、佐藤裕之委員、坂井浩行委員、櫻澤健委員、坂井友也委員、坂井勝委員、大井英揮委員、込山雄一郎委員、刈屋優樹委員、長谷川恵梨委員、鈴木航委員、山田守委員、川村貴則委員、渡辺歩委員、詰田真央委員、佐々木弘一委員、山下大樹委員、高橋美咲委員、若林初代委員、坂井真理子委員、佐藤智広委員、安井朋委員、齋藤貴子委員、池田岳康委員、谷内田誠委員、宮嶋利光委員、伊藤正史委員、金子裕彦委員、伊藤勝広委員、佐藤康子委員、三村陽子委員、小出晃大委員、相澤一徳委員、中村正之委員
(欠席委員 山田泰輔委員、長谷川光栄委員、皆木美知子委員、下條悟委員、亀倉伸嘉委員)
- 4 職員等 滝沢市長、高橋教育長、平岡教育部長、野水教育総務課長、相田学校教育課長、樋口教育センター長、佐藤教育総務課課長補佐、外山学校教育課統括指導主事、畑教育センター統括指導主事、井上教育総務課庶務係長、小柳教育総務課学事係長、坂上教育総務課施設管理係長、富樫教育総務課庶務系主任
- 5 傍聴人 6 人
- 6 議 題
 - (1) 議事 委員長の互選
 - (2) 議事 副委員長及び職務代理委員の指名
 - (3) 議事 部会長及び副部会長の互選
 - (4) 議事 小学校の統合の時期について
 - (5) 議事 統合校として活用する小学校校舎について
 - (6) その他
次回、第2回しただの郷未来の学校設置準備委員会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
市長あいさつ
(滝沢市長)

本日は御出席いただき誠にありがとうございます。昨年9月に少子化を踏まえて三条市未来の学校検討委員会を設置しました。全4回の委員会を開催して検討いただいた結果、ただの郷学園は児童数の減少が著しく、小学校の具体的な統廃合の在り方について、速やかに検討を開始する必要があると提言いただきました。それを踏まえ、教育委員会は下田地域で懇談会を開催し、令和10年4月に小学校5校を1校に統合する事が子どもたちのために望ましいと提案しました。令和10年4月というのは、今年小学校1年生が4年生に、2年生が5年生に、3年生が6年生になるタイミングです。懇談会には計271人御参加いただき、毎回参加していただいた方もいました。多くの皆さんが子どもたちのこと、下田地域の未来のこと、三条市の未来のことを考えてくださっていることに心が熱くなりました。

懇談会でいただいた沢山の御意見を踏まえ、ただの郷未来の学校設置準備委員会を設置しました。下田地域の小学校5校を1校に統合する事は少子化だからというネガティブな事ではありません。むしろチャンスと捉え、どうすればより良い環境で教育を受けることができるのか、皆さんと一緒に考える良い機会と思っています。このチャンスを皆さんと一緒に掴んで、私たちの考えを具体化し、子どもたちに届けたいと考えています。皆さんからは下田地域の子どもたちのために、前向きに忌憚なき意見をお願いします。ここ、下田中学校の食堂は40年前から子どもたちが笑顔で語りながら一緒に成長して学び合っている場です。この食堂で大人の私たちも笑顔で一緒に未来を語り合い、次の世代の子どもたちに届けていきましょう。この設置準備委員会が前向きであること、子どもたちの未来のためであること、ひいては三条市の未来のためであることを改めてお伝えさせていただき挨拶とさせていただきます。

(1) 議事 委員長の互選

(佐藤教育総務課課長補佐)

委員長は、設置準備委員会設置要綱の規定により、委員の互選によって定めることとされていますが、いかがお取り計らいでしょうか。

(西川委員)

未来の学校検討委員会で、少子化が著しいことから小学校を統合する検討を進めることになりました。その際、地域等が意見を述べられる時間を丁寧に確保することをお願いしましたが、本日まで保護者や地域に耳を傾けてもらったと思います。この設置準備委員会が実りある委員会となるよう引き続きよろしくをお願いします。

先月25日の各学校運営協議会向けの説明会で、委員長と副委員長になる方について教育

委員会の考えを聞きましたが、学園を俯瞰できる人物とのことでした。自分も同感で、学園を俯瞰できるしただの郷学園運営協議会会長の山田宏高さんを委員長にしてはどうでしょうか。

(全員異議なく決定)

(佐藤教育総務課課長補佐)

それでは、山田宏高さんに委員長をお願いすることに決定します。山田委員長は、委員長席へ御移動をお願いします。以降の進行につきましては、山田委員長からお願いします。

(2) 議事 副委員長及び職務代理委員の指名

(山田委員長)

副委員長は指名となっています。一緒にしただの郷学園運営協議会を進めてきた、刈屋剛さん、川沼正憲さん、前田政志さんの3人を指名します。また、職務代理委員は昨年度の未来の学校検討委員会委員であり、色々な場面で支えていただいた、前田政志さんをお願いしたいと思います。

(全員異議なく決定)

(山田委員長)

各副委員長はそれぞれの部会のオブザーバーにも入ってもらいたいと考えていますがよろしいでしょうか。

(全員異議なく決定)

(3) 議事 部会長及び副部会長の互選

～各部会に分かれて決定

地域交流部会

部会長 坂井大委員 副部会長 坂井浩行委員、坂井勝委員

通学部会

部会長 安井朋委員 副部会長 長谷川恵梨委員、高橋美咲委員

学校運営部会

部会長 相澤一徳委員 副部会長 池田岳康委員、伊藤勝広委員

(4) 議事 小学校の統合の時期について

(山田委員長)

設置準備委員会に出席している皆さんも何度かにわたり懇談会等に参加されたと思い

ます。懇談会等で統合時期を令和10年4月にすることは議論や質疑が尽くされていると思いますが、いかがでしょうか。

(坂井浩行委員)

懇談会で、住民から小学校の統合時期についての意見があったと思います。設置準備委員会で統合時期を決定した後、住民に説明してはいかがでしょうか。

(平岡教育部長)

統合に係る事務の準備期間を考えて最速の令和10年4月を提案しました。住民への周知については、随時下田地域に回覧を発出する予定です。これから物事を決定する度に周知し、住民に承知いただくよう努めます。

(坂井浩行委員)

丁寧な周知をよろしくお願いします。

(大竹委員)

統合する小学校を下田中学校の校舎に移動する時期は明示しないのですか。

(平岡教育部長)

下田中学校の校舎に小学校5校の児童数を受入れることができる時期は、令和15年度以降を想定しています。正確な年度を想定する事は難しいことから、時期ではなく方向性を検討いただきたいと思います。資料7のとおり、11月の第2回設置準備委員会で小中一貫教育の形態を御検討いただきたいと思いますと提案する予定です。小中一貫教育の形態を含め、いつのタイミングで下田中学校の校舎に移動すべきかについても検討いただくこととなります。

(神田委員)

今後、設置準備委員会はどのような可決方法をとるのですか。

(平岡教育部長)

一概には言えませんが、多数決はあまり望ましいものではないと考えています。その都度、全会一致が望ましいものの、決定の方法については山田委員長と相談して進めていきたいと思っています。

(神田委員)

声の大きい人の意見に傾かないようにお願いします。

(山田委員長)

設置準備委員会に出席している皆さんも何度かにわたり懇談会等に参加されたと思いますが、統合時期を令和10年4月にすることは懇談会等で議論や質疑は尽くされていると思います。当委員会の考えとして、統合時期は令和10年4月として決定してはいかがでしょうか。

でしょうか。

(全員異議なく決定)

(5) 議事 統合校として活用する小学校校舎について

～野水教育総務課長 説明

(山田委員長)

統合校として活用する校舎については、今日結論を出すことは難しいと思うので、それぞれ持ち帰っていただき、次回の設置準備委員会で検討したいと思います。御質問等ありましたらお願いします。

(坂井浩行委員)

検討の進め方について、今日いただいた資料を個人で検討して第2回設置準備委員会に持ち寄るのですか、どこかで意見集約してくるのですか。

(野水教育総務課長)

皆さんは学校運営協議会の代表なので、学校運営協議会にお持ち帰りいただき意見を集約していただきたいです。

(西川委員)

統合校として活用する校舎は、生活する子どもたちの安全が確保されることが大事です。小学校5校の児童は令和10年度に212人となる見込みですが、212人全員が気持ち良く学校生活を送れるようにするために、教室数のみの資料で良いのでしょうか。例えば、資料に示されている部屋が現実的に改修できるのか個人的な判断が付きかねます。現在、子どもたちと生活を共にされている先生の客観的な所見を参考資料としていただけるとありがたい。いただけるとすれば、いつ頃いただけますか。

(平岡教育部長)

先生へのヒアリング方法や時期など、少し考えさせてください。

(大竹委員)

統合校として活用する校舎を選ぶためには、職員室やトイレ、スクールバスも検討事項になると思います。

(野水教育総務課長)

全校の児童数によって教師の人数が決まります。既存の職員室に統合後の教師全員が入るかは、統合校として活用する校舎の決定後に考えます。

(大竹委員)

既存の職員室を統合後の職員室とした時、面積は足りているのか、不足していて建てる

必要があるのか、現在の資料のみでは判断できません。

(平岡教育部長)

まずは、5校の小学校校舎の現在の教室数や面積で、統合校として活用する校舎を検討いただきたいと思います。校舎が決定した後、その校舎にどのような改修が必要なのか考えていきます。

(川口委員)

小学校5校が1校に統合すると、学校行事時の駐車場が足りないのではないのでしょうか。行事時の駐車場も考慮して欲しいです。

(野水教育総務課長)

保護者の移動が車であることは承知しています。駐車スペースがどの位確保できるのかは検討をします。

(金子委員)

統合後の児童クラブはどこに開設するのですか。

(平岡教育部長)

まずは統合校として活用する校舎を決定いただき、詳細の検討に入ります。その検討項目に児童クラブの場所も含まれます。児童クラブは面積の基準があるので、その面積は確保して開設しなければなりません。

(坂井大委員)

水害時は長沢小学校と笹岡小学校がその他避難所になっています。これは避難者が少ないことが理由なのでしょう。

(野水教育総務課長)

避難所の指定については、第1次避難所を下田サービスセンター、それを取り巻く避難所を第2次避難所としています。その他避難所は、第2次避難所に向かうことが危険な場合、ひとまずその他避難所に避難いただけるように指定されているものです。

(刈屋優委員)

休み時間にトイレへ行く児童が集中すると思いますが、その時のトイレの数は足りるのでしょうか。

(野水教育総務課長)

現在のトイレの数を増設しない方針ではありません。統合校として活用する校舎を決定後に考えていきます。

(6) その他

次回、第2回ただの郷未来の学校設置準備委員会の日程について

野水教育総務課長から提案があり、次のとおり決定

〔日時〕 令和7年11月26日（水）午後6時から

教育長あいさつ

（高橋教育長）

正副委員長、それぞれの任に着任いただいた方、長丁場となりますがよろしくお願ひします。統合時期を令和10年4月にすることについて、様々な御意見をいただきました。それを含めて教育委員会としての決議をいただくことをお約束します。山田委員長を始め、多くの知見をいただきました。新しい学校が子どもたちにとって安心安全でわくわくするような学校になるようにしたいと考えています。私はただの郷学園の学校に勤務したことがありますが、この地域ほど子どもと密接にカリキュラムを進めているところはありません。5校の小学校のそれぞれの知見が1つにまとまり、文部科学省が推進する地域に開かれた学校が開校することになります。安心安全でわくわくするような学校になるように御尽力いただくよう、今後ともよろしくお願ひします。